

(2) 地域再生計画の工程表及びその内容を説明した文章

区分	特定事業等の名称(番号)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度～		
支援措置	公営住宅における目的外使用承認の柔軟化(A1202) お試し移住住宅事業	←→	←→						
関連事業	地域活性インターンシッププログラム	←→	←→				情報発信プラットフォームで下呂市観光の「ひと・もの」まちづくり		
	アンテナショップ事業	←→	←→						
	下呂市版DMOの構築	←→	←→						
	ランドマーク整備			←→	←→	←→			
	都市再生整備計画事業	イベント広場整備		←→	←→	←→		←→	
		イベント広場駐車場整備		←→					
		二次交通発着所、駐車場整備		←→	←→	←→		←→	
		観光交流センター整備	←→	←→	←→				
	社会資本総合整備交付金事業	無電柱化事業		←→	←→				
		施設周辺道路整備等		←→	←→	←→		←→	
	都市再生整備計画事業	下呂温泉街まち歩き推進事業	←→	←→					
		げろぐるトラベル事業(着地型観光推進事業)			←→	←→			
		下呂市インバウンドプロモーション事業	←→	←→					
		貸切タクシー着地型ツアー実証実験	←→	←→					
		二次交通整備調査事業(バス)	←→	←→					
	各地域の資源開発事業	各地域の資源開発事業	←→	←→	←→	←→		←→	
		小坂地域	←→	←→	←→	←→		←→	
		萩原地域	←→	←→	←→	←→		←→	
		下呂地域	←→	←→	←→	←→		←→	
		金山地域	←→	←→	←→	←→		←→	
馬瀬地域		←→	←→	←→	←→	←→			

(工程表の説明)

- お試し移住住宅事業は平成28年度に実施、以降住宅の申し込み状況等勘案し次年度以降の実施を検討。
- 地域活性インターンシッププログラムは平成28年度から30年度にかけて実施する。毎年度、評価検証を行いながら、継続実施していく。
- アンテナショップ事業は平成28年度から31年度にかけて実施する。当事業により得られた調査結果を、市内の農産加工業者等へフィードバックし、今後の商品開発や販売方法へ反映させる。
- 下呂市版DMOの構築は、平成28年度から30年度にかけて実施する。平成28年度にDMO選任職員を育成し、平成29年度までに旅行業の資格を持った組織を構築し、平成30年度までに整備される観光交流センターの運営母体とする。
- ランドマーク整備は平成30年度に詳細設計し、平成31年度より着工する。
- イベント広場整備は平成29年度に詳細設計、平成30年度から工事着工する。
- イベント広場駐車場整備は、平成29年度に工事着工する。
- 二次交通発着所、駐車場整備は、平成29年度より着工する。
- 観光交流センター整備は平成28年度に詳細設計、平成29年度より着工する。
- 無電柱化事業は平成29年度に詳細設計し、平成30年度より着工する。
- 施設周辺道路整備等は平成29年度に詳細設計し、平成30年度より着工する。
- 下呂温泉街まち歩き推進事業は、新たなご当地スイーツの開発(平成28年度)、顔出し看板の作成設置(平成28・29年度)、スタンプラリーの実施(平成28年度)により、まち歩きを誘発し、温泉街の賑わいを創出する。
- げろぐるトラベル事業(着地型観光推進事業)は、平成30年度に、着地型観光のマッチング調査、体験プログラム作成を行う。平成30年度から31年度にかけて、モニターツアーの実施、ガイド講習会の開催、観光案内所の機能強化によるワンストップサービスを構築する。平成31年度に、着地型観光への誘発のため、スマホアプリを開発する。
- 下呂市インバウンドプロモーション事業は、平成28年度にインバウンドプロモーションのための調査研究を行い、平成29年度にプロモーションツールを作成する
- 貸切タクシー着地型ツアー実証実験は、平成28年度に調査事業を実施し、平成29年度に実証実験を行い、今後の事業化に向けての判断材料として活用する。
- 二次交通整備調査事業(バス)は、平成28年度に周遊バス運行のための調査事業を実施し、平成28年度から29年度にかけて試験運行を行い、今後の事業化に向けての判断材料として活用する。
- 各地域の資源開発事業
 - ・小坂地域は、平成28年度から31年度にかけて、小坂の滝めぐりプログラムの充実やガイド養成等に継続的に取り組む。また、平成28年度から32年度にかけて、温泉と食と健康づくりを組み合わせた滞在型観光地を目指した取り組みを、段階的に進める。
 - ・萩原地域は、平成28年度から32年度にかけて、酒蔵や朝市等を中心とする萩原宿の街歩きや春の桜めぐりを活かした観光地域づくりを進める。また、地域内の施設を利用したグリーンツーリズムやスポーツツーリズムの振興も、継続的に図っていく。
 - ・下呂地域は、平成28年度から32年度にかけて、温泉資源を有効に活用しつつ、地域再生計画で位置付けた施設等と一体的に効果を発揮できるように、ソフト事業を中心とした取り組みを行う。平成32年度のイベント広場整備後は、施設を活かしたイベントを実施する。
 - ・金山地域は、平成28年度から32年度にかけて、飛騨街道筋骨めぐり等を活かした観光プログラムの充実を図り、持続可能なガイド養成に継続的に取り組む。平成28年度から30年度にかけて、横谷峡遊歩道の改良を断続的に行う。
 - ・馬瀬地域は、平成28年度から32年度にかけて、清流馬瀬川を中心とした地域資源を活かした着地型観光推進のため、受入体制の強化に努める。また、平成28年度から29年度にかけて、馬瀬地域の観光拠点となる、水辺の館の改修に取り組む。